昭和43年10月1日第3種郵便物認可　通巻743号（毎月1日発行）平成27年10月1日

CHUOKAI MONTHLY 2015

60th anniversary

中小企業静岡

OCTOBER 10 No.743

■特　集

企業間連携による“ものづくり”

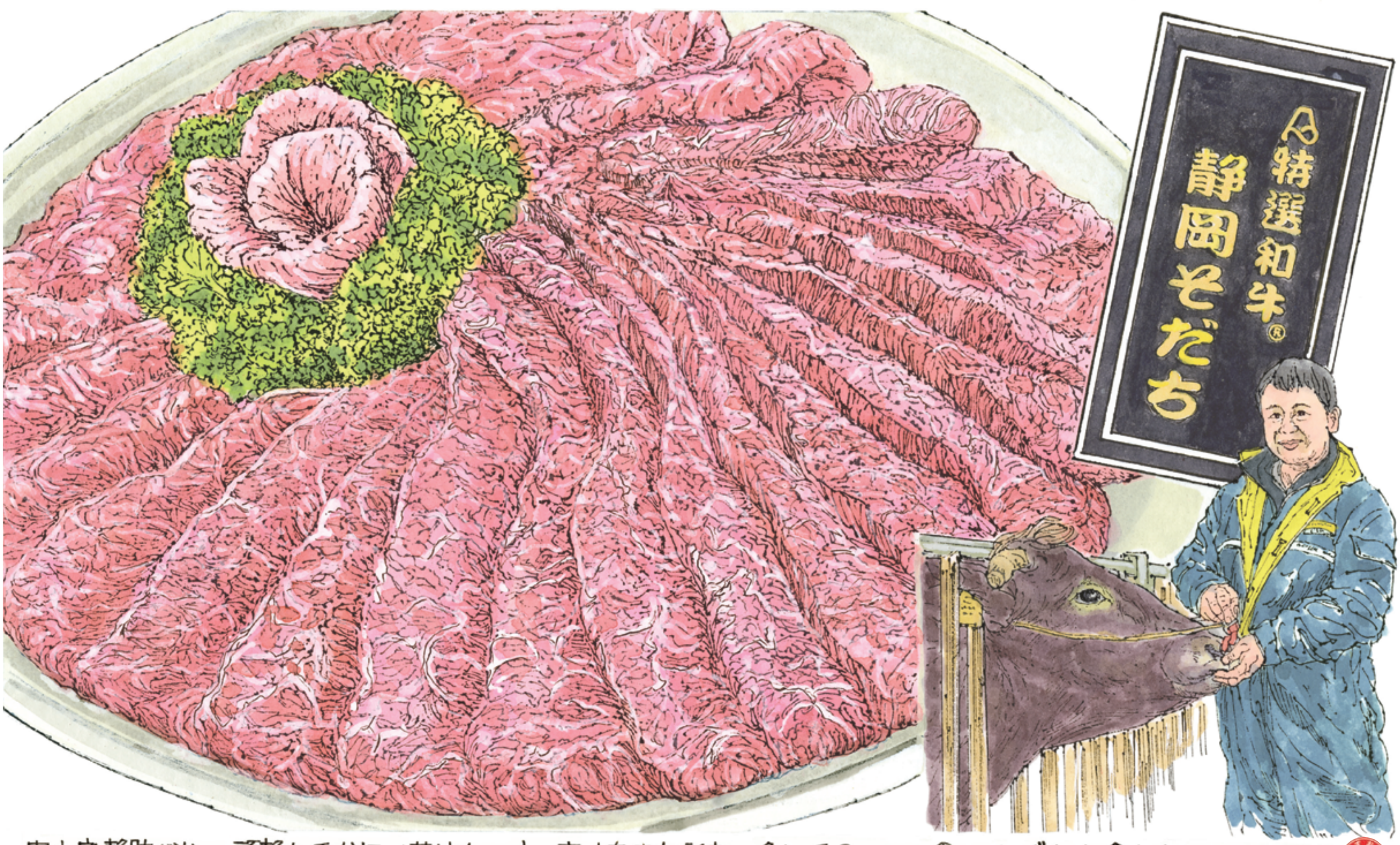
～中小企業の挑戦が未来を拓く～

■Business Report

長年の歴史に培われた優れた大工技術をPR！
平成27年度「静岡大工まつり」を開催 ほか

■クローズアップインタビュー

協同組合ロームシステム
海野要三 理事長



しずおか食セレクション(10)

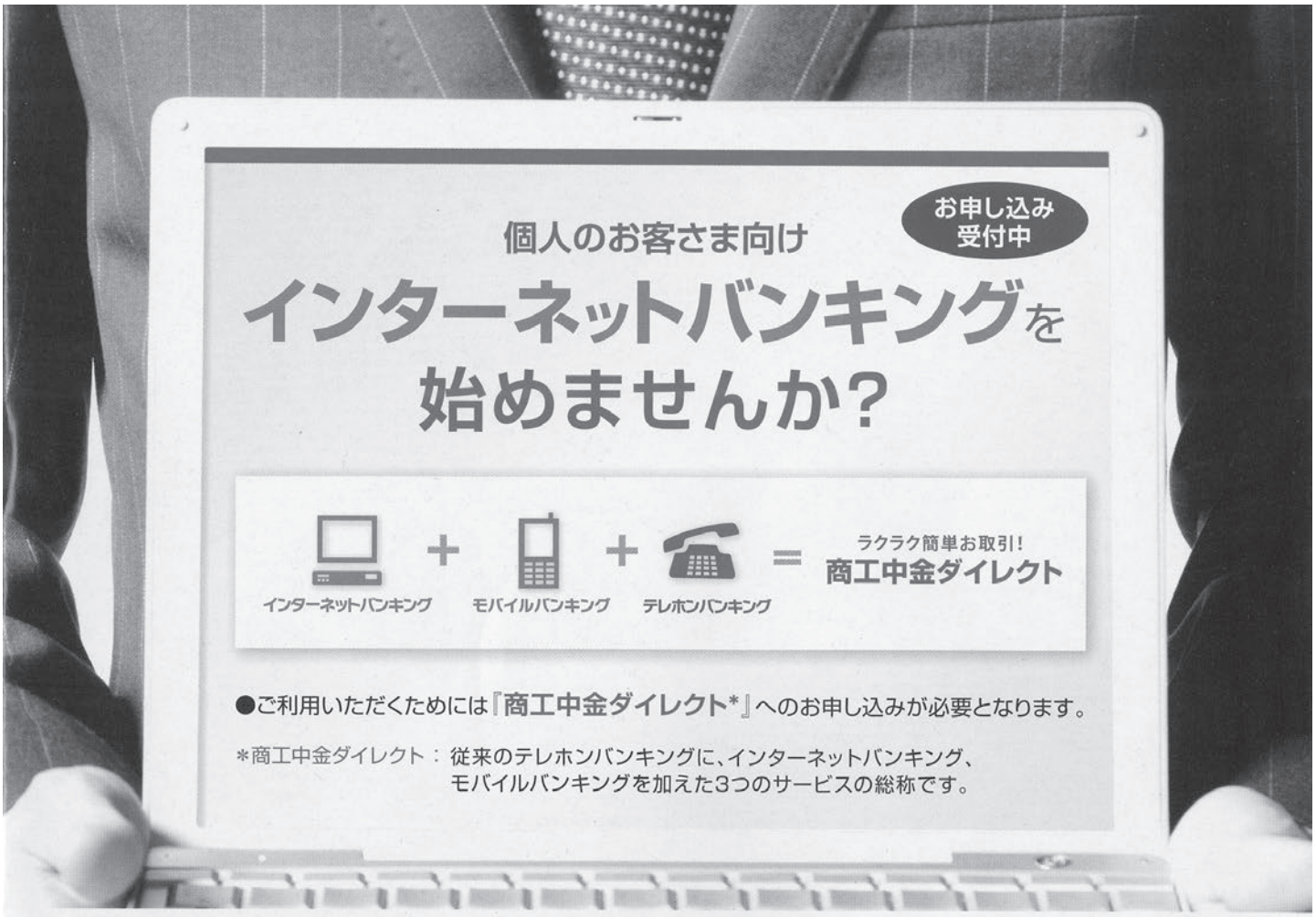
特選和牛 静岡そだち

豊かな緑に囲まれてのどかな時間が流れる「特選和牛静岡そだち」の飼育農場。牛舎にはすべての牛の血統が掲げられ、黒毛和種の雌牛であることが「静岡そだち」の条件。

JA静岡経済連の所有する牛を飼育する委託農場と自分で牛を所有する認定農場がありますが、良質な和牛肉を安定生産するため、すべての農場が同じ飼育管理マニュアルに添って牛を飼育しています。

概ね生後三〇ケ月になるまで育てられた牛は、食肉市場などに出荷され格付を受けます。肉質等級三等級以上に格付されたもののなかから、さらに銘柄認定委員により認定されたものだけが「特選和牛静岡そだち」として店頭に並びます。

柔らかく、きめ細やかな肉質と上品な甘みがあり口どけの良い脂肪を持った「特選和牛静岡そだち」。素材の良さをいかしたステーキやしゃぶしゃぶ、焼肉がおすすめです。



インターネットバンキング、モバイルバンキングの主な特徴

POINT 1 お客さまのパソコン(インターネットバンキング)、携帯電話(モバイルバンキング)でラクラク簡単にお取り引きいただけます(原則24時間ご利用いただけます)。

POINT 2 基本使用料は無料、専用ソフトも不要です。

POINT 3 新型定期預金「マイハーベスト」等の定期預金のお預け入れの他、お振込・お振替、残高照会、入出金明細照会などがご利用いただけます。

＊インターネットバンキング、モバイルバンキングはシステムメンテナンス等によるサービス利用停止期間がございます。
＊モバイルバンキングでは、定期預金のお預け入れ等一部のサービスはご利用いただけません。
＊「商工中金ダイレクト」は**総合口座**をお持ちの個人のお客さま向けのサービスです。債券総合口座通帳をお持ちのお客さまは、総合口座通帳へお切り替えいただく必要があります。また法人、個人事業主の方が事業でご利用する場合は、法人のお客さま向けの「商工中金ビジネスWeb」をご利用ください。
＊「商工中金ダイレクト」をご利用いただくには、お申し込み手続きが完了し、契約者カードがお手元に届いている必要があります。商工中金ダイレクトのお申し込みをいただいてから契約者カードがお手元に届くまで2週間程度かかる場合がございます。あらかじめご了承下さい。
＊ご利用いただくには、インターネットに接続できるパソコン(もしくは携帯電話)とEメールアドレスが必要です。お客さまのパソコンのご利用環境や携帯電話の機種によっては、ご利用いただけない場合もございます(モバイルバンキングをご利用になる場合も、インターネットバンキングによる初期設定が必要となります)。

サービスの概要やご利用いただく上での留意事項につきましては、当金庫ホームページをご覧下さい。

お問い合わせ 商工中金ダイレクトバンキングセンター
0120-299-233(平日 9:00～19:00) http://www.shokochukin.co.jp/

人を思う。未来を思う。
商工中金

中小企業静岡

10
October
No.743

●インターネットでもご覧いただけます
中央会静岡　検索
トップページ中央右の
「今月の中小企業静岡」をクリック！
http://www.siz-sba.biz/library_index.htm

目 次　INDEX

特　集　企業間連携による“ものづくり”～中小企業の挑戦が未来を拓く～　2

Business Report　長年の歴史に培われた優れた大工技術をPR！平成27年度「静岡大工まつり」を開催 ほか　 　8

景況ウォッチ　8月の情報連絡員月次景況調査より　10

ネットワーク　「静岡県職業能力開発促進大会」記念講演のご案内 ほか　 　12

クローズアップインタビュー　栄えある旭日小綬章を受章
協同組合ロームシステム　海野要三 理事長　 　15

読者プラザ　静岡県中小企業団体中央会
ものづくり支援センター　大長 航　 　16

表紙絵／近藤よしひろ

特集

企業間連携による“ものづくり”
～中小企業の挑戦が未来を拓く～

中小企業は一般的に、「ヒト・モノ・カネ・情報」といった経営資源が脆弱だと言われている。こうした弱点を補うツールとして注目されるのが協同組合などの連携組織である。複数の企業が連携し、知恵を出し合って販路開拓などに乗り出す中小企業は少なくない。

静岡県中央会は昨年度、ものづくりに係る中小企業（以下、「ものづくり企業」）における企業間連携に対する実態調査を行い、企業間連携を進めるうえでのポイントや課題、支援を行う中央会の役割などについてまとめた。

特集では、この調査結果をもとに、組合の設立で新分野進出に取り組む最新の事例を紹介する。

調査の概要

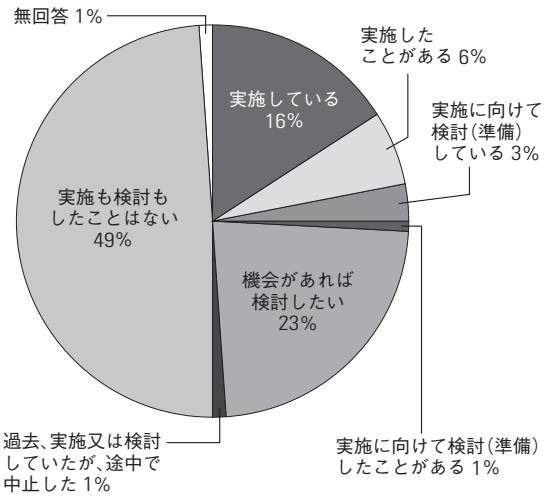
企業間連携の実態

■約半数が企業間連携に意欲

静岡県中央会では、県内のものづくり企業四三二社を対象に、企業間連携の取組みの実態や課題、ニーズについて調査した。

まず、企業間連携について今までに実施もしくは何らかの検討をしたことのある企業は全体の約半数であり、関心の高さを示す結果となった。（表①）

表①「企業間連携」を実施・検討の有無

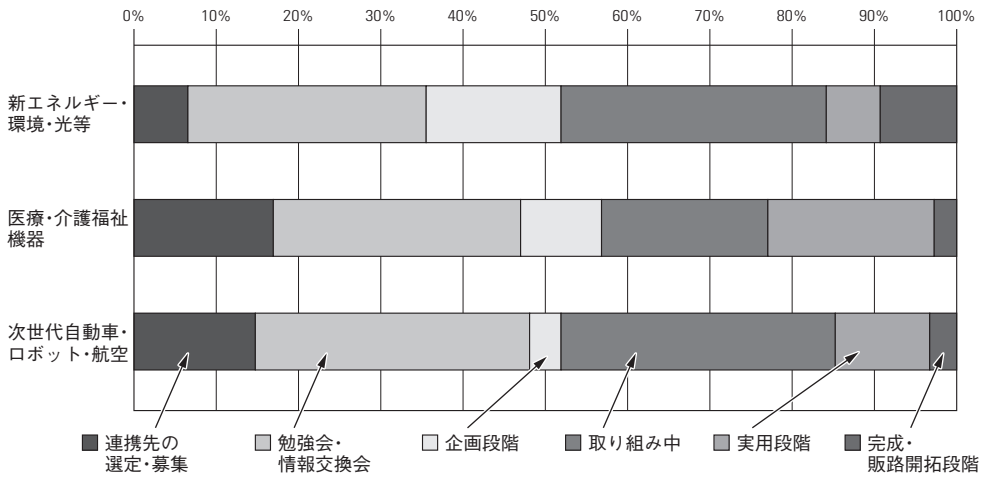


■新成長分野への関心高く

企業間連携に取組み中、または取り組みたい分野については、いわゆる新成長分野である「新エネルギー・環境・光」（一九％）「医療・介護福祉機器」（一九％）「次世代自動車・ロボット・航空」（一八％）と合計で、全体の五六％を占めた。

また、それぞれの取組み段階としては「勉強会・情報交換会」レベルの活動が多いが、具体的な活動に取り組み、何からの成果を上げているという回答も二割近くにのぼった。（表②）

表② 新成長分野における取組み段階

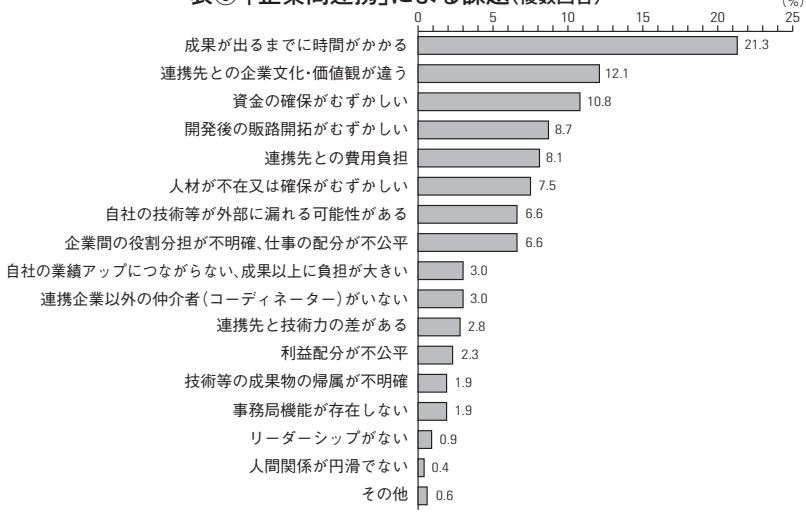


企業間連携の課題

■連携の効果・意義が見えにくい

企業間連携を通じて、効果を見出している企業が存在する一方で、連携してみたものの、思うような結果が出ず「連携を解消」「活動を中止」といったケースに至る企業もある。

表③「企業間連携」による課題（複数回答）



企業間連携の課題としては「成果が出るまでに時間がかかる」（二一三%）が最も多かった。（表③）また、連携先との価値観のズレに悩むケースも多い。そもそも何をもって成果とするかがあいまいであると、ゴールが見えない活動となってしまい、メンバー間の徒労感も大きくなる。あらかじめ、メンバー間で「目標の明確化」を行うことが成果を出すカギである。

その他、「資金確保」も大きな課題。場合により、「事業撤退」の目安を定め、このくらいの損失がでたら撤退を検討するなどの取り決めも必要であり、事前に契約書や覚書などを取り交わすなど、連携前の準備が重要である。

企業間連携のポイント

中央会では、これらのアンケート調査の他、異業種が集まり小水力発電機の研究開発を行う「静岡中部金属開発協同組合」（梶田幸雄理事長・メイセー機械㈱）や浜松市内のメッキ加工会社が中心となって短納期を実現する「メッキ屋いいら」（村松稔久代表・㈱村松製作所）の事例調査を行い、企業間連携のポイントをまとめた。

ポイント1 自社を知り、顧客ニーズを知ること

まず、クロスSWOT分析（表④）などを用い、自社の強みや弱み、自社を取り巻く外部環境（機会や脅威）を知り、自社に足りない経営資源を明らかにすることが第一段階である。そして、自社にないものを他社・他機関に求め、お互いにプラスになる関係が構築できるようであれば、連携という形がとれるようになる。その中で、どういった戦略で進めていくのかまで決めることができれば望ましい。

次に顧客ニーズを把握し、そのうえでどのようなサービスを顧客に提供することができるかを考える。一社単独では、提供できるサービスには限りがあり、連携することで幅広いニーズに対応し、受注の機会も拡大することとなる。

表④ 「クロスSWOT分析」例（アンケート結果に基づく分析）

		内部要因	
		【強み(S)】 ・技術力（品質・精度等） ・製品の独自性 （他社にない技術・ノウハウ） ・短納期に対応できる ・品質が安定している ・独自のサービスを保有	【弱み(W)】 ・自社にない技術、ノウハウ ・販売力 ・企画・提案力 ・研究・開発力 ・情報収集力
外部環境	【機会(O)】 ・新成長分野の市場拡大 ・新企業の国内生産回帰 ・行政、公的機関の支援	積極戦略（機会×強み） ●異業種、他分野市場向け進出 ●新製品の開発	改善戦略（機会×弱み） ●社内生産体制の強化 ●営業要因補強 ●従業員教育によるスキル向上
	【脅威(T)】 ・親企業、発注先の海外移転 ・海外企業との競争 ・発注先からの値下げ要求 ・取引先のニーズ変化	差別化戦略（脅威×強み） ●既存製品の改良 ●付加価値の向上 （機能向上、納期短縮など）	撤退縮小戦略（脅威×弱み） ●既存事業の縮小、撤退 ●外部委託

ポイント2

ステップを踏んだ取組み

企業間連携により新規事業に取り組むには、資金や時間が必要であり、事前に進出分野に対する可能性を見極める必要がある。

従来とは全く違う取組みが必要となるため、流れを間違えないように注意したい。

まず、連携ありきではなく、どんなニーズがあるのか、何を必要としているのかを見極めたうえで、最適な連携体を組織することが重要である。

ポイント3

コーディネーターの活用

企業間連携においては、方向性の相違や思い違いなどが数多く発生する。そのような事態に備えて、客観的にみられる第三者の存在が必要となる。方向性がずれた場合の軌道修正や、常に冷静な判断ができるコーディネーターの活用が望まれる。

※コーディネーターの役割

コーディネーターも一人とは限らない。それぞれの開発段階で対応の仕方や必要なノウハウも変わってくることから、直面する段階に応じた専門家に支援してもらうことで連携活動を円滑に進めることができる。

また、連携体の活動を最初から最後まで一貫してみることができるトータルコーディネーターの存在も重要であり、それぞれ求められる役割は異なるが、いずれのコーディネーターも活動を円滑に遂行するには必須な存在である。

中央会に期待される役割

調査結果では、成長分野への関心が高く、任意グループに所属する中小企業は七割にも達している。さらに、企業間連携に取り組む背景として「既存の技術やノウハウが、成長分野に転嫁（活用・展開）できるから」という意見が全体の四六%と半数近くを占めており、多くの中小企業で自社の保有している経営資源（技術・ノウハウなど）が成長分野等に活かせないかを模索している。

一方、連携したことがない理由として、「取り組み方がわからない」という回答も目立つ。また、連携できたとしても次の段階に進むことは容易ではない。連携後、軌道に乗った活動ができている企業は約四割あるものの「連携先の選定や募集」あるいは「勉強会・情報交換」に留まっている企業も約四割あり、何かきっかけがないと次のステップに進むには難しいと考えられる。

そこで中央会は、企業間連携の段階に応じて必要な支援（専門家・コーディネーターの紹介、各種補助金・支援策の情報提供等）を行うことで、企業間連携の円滑なステップアップを支援していく考えである。

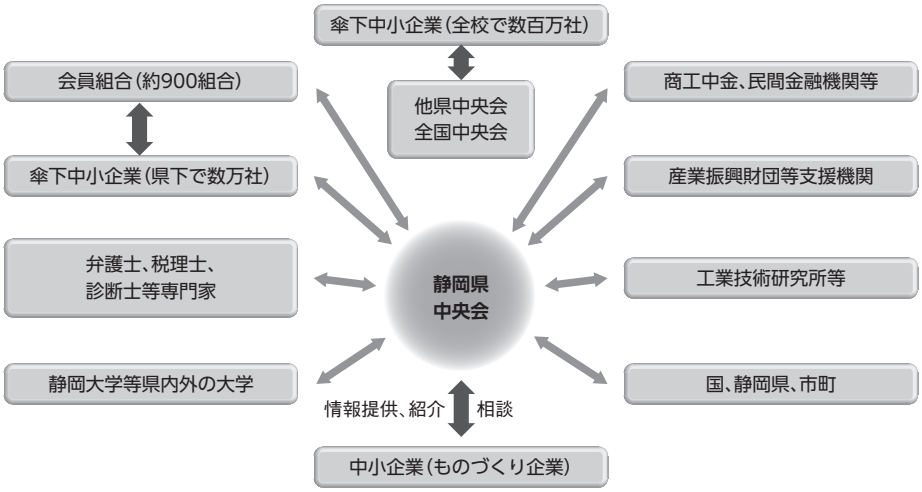
■相談窓口の機能強化

中小企業が経営課題に対して最初に相談できるような窓口機能を一層強化する。そのうえで、中央会を取り巻くネットワーク（表⑤）を活用し、企業間連携の取組み段階に応じて、課題解決の糸口を導く外部機関への橋渡しを積極的に実施する。

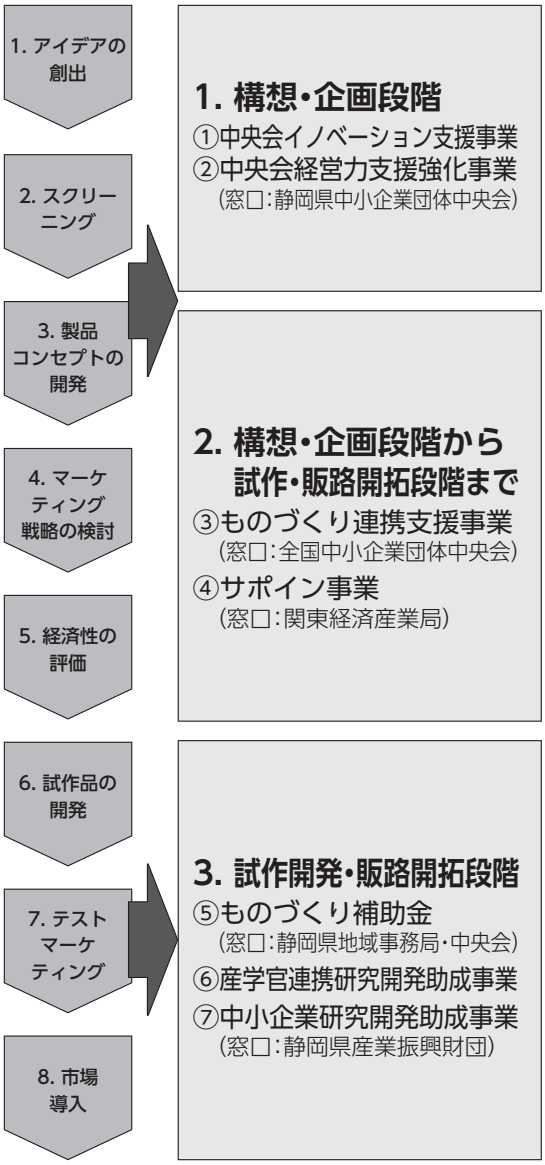
■補助事業の活用促進

中央会補助事業をはじめ、国・県・市町等の補助金制度（表⑥参照）を活用し、企業間連携の取組み段階に適した補助金等の活用を促すとともに、その申請・実行等を支援する。

表⑤ 中央会を取り巻くネットワークイメージ図　中央会の『繋がり力』



表⑥ 新成長分野を含む支援策・補助金活用例（平成27年度）



〈主な支援策・補助金〉

①中央会イノベーション支援事業
（連携組織等イノベーション支援事業）
任意グループや組合など「連携」組織が行う新たな取り組みに対し支援。成長分野への取り組みについての研修会、研究会、視察研修などを実施する際の経費を補助（補助率：1／2）

②中央会経営力支援強化事業
（連携組織経営力支援強化事業）
組合や連携組織が抱える課題の解決のため、専門家の派遣や研究会の開催を支援する。専門家謝金や旅費、会場借料などを補助（補助率：2／3）

③ものづくり連携支援事業
（ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業）
連携グループを形成するためのセミナー開催から情報収集、さらに形成された連携グループが行う製品開発や展示会出展費用を補助（補助率：10／10）

④サポイン事業（サポーティングインダストリー：戦略的基盤技術高度化支援事業）
ものづくり基盤技術の高度化に向けて、中小企業が川下企業、研究機関等と協力して行う研究開発及び販路開拓を一貫して支援

⑤ものづくり補助金
（ものづくり・商業・サービス革新補助金）
中小企業等が取り組む、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を補助（補助率：2／3）

⑥産学官連携研究開発助成事業
中小企業者が大学・公設試験研究機関等と連携して、新技術・新製品等の実用化を図るために研究開発する経費を補助（補助率：10／10）

⑦中小企業研究開発助成事業
中小企業者が新技術・新製品等の研究開発を行うために必要な経費を補助（補助率：2／3）

※平成二七年度の募集を締め切っている場合があります。詳細は、各窓口に確認してください。

事例紹介

最後に、企業間連携によるものづくりの取り組み事例を紹介する。

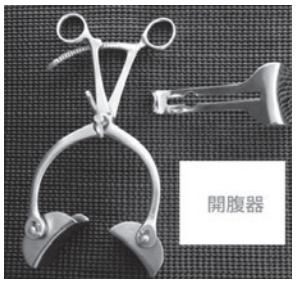
いずれも、中央会などがコーディネーターとなり組合の設立を支援し、共同でものづくりの研究開発を行い、受注機会の拡大を目指すものである。

事例①

医療用器具・介護福祉機器製造業の集積地
”手術用器具なら浜松“を目指して！
協同組合ＨＡＭＩＮＧ
理事長：橋本秀比呂
ＵＲＬ：http://www.haming.wrng.jp/

当組合は、浜松地域イノベーション推進機構内のチタン研究会のメンバーで、チタンの医療分野への応用に関心が高い四社により平成二四年一一月に設立された。

医療用器具は、高齢化の進展により新たな成長市場として注目されているが、海外製品への依存率が高く、多品種少量生産といった特徴もある。また、切削、プレス、研磨など多くの工程とそれに伴う高度な加工技術が求められる。



■共同事業で試作品開発に成功

多品種少量生産の医療用器具の製作は、中小企業が単独で受注することが、極めて困難である。また、医療現場のニーズの吸い上げや、細かな使用感の向上、品質管理、許認可関係など新商品の開発には、多くのノウハウを必要とする。

当組合ではこれらの課題を解決するため、共同研究や共同受注を実施。組合員の開発・生産技術の向上支援や技術、ノウハウの結集による製品レベルの向上、受注拡大を目指している。

こうした活動により、手術用開創器や先端微細技術を活用した手術用マイクロピンセットの試作開発に成功した。また、肛門鏡など数品目で受注実績をあげている。

■ニーズに合致した介護支援機器の開発

当組合では、医療用器具の他に介護福祉機器の開発にも力を入れている。

介護福祉機器製造は、コストや使い勝手などの問題から商用ベースに乗らないものが多い。その大きな要因は、現場側（使い手）と供給者側（作り手）の間の乖離である。

介護現場の課題やニーズを取り込み、「現場の声」をフィードバックした新たな介護支援機器を開発するため、理学療法士や介護福祉施設と連携。技術検討会をスタートし、介護支援機器の開発に着手した。中央会の補助事業を活用し、床ずれ防止のための体位変換を介助者が負担なく安全に支援するための「寝返り補助器」のプロトタイプの試作に成功した。

また、平成二五年度には国の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を受け、当試作品の改良を図り、商品化を進めた。

その他、軽量車いすや離床検知システムなど、使い手の視点に立った介護支援機器の開発を現在も進めている。

組合は、「今後、医療機器商社と連携し、安価な海外製品には追随できない高付加価値商品づくりを目指したい」と意気込む。

事例②

三次元プリンタを活用した体験工房

ノウハウを持ち寄ったソフトウェアの開発

「Digi∞Base（デジベース）」

未来工房グループ

代　表：杉山晃雄

URL：http://digi-base.com/top.html

製造業において、三次元プリンタの出現が世界のものづくりの現場を変えると言われ大きな社会問題となっている。

静岡市清水区でソフトウェアの開発を行っているデジベースの杉山代表は、三次元プリンタなどの工作機械が利用できるものづくり体験サービス（体験工房）を展開している。

工房では、ものづくりを体験したい個人が、三次元プリンタなど工作機械の使い方を学び、自由に使えるスペースを提供するとともに、仕事仲間であるソフトウェア開発の専門家らが講師となり、最新デジタル機器の活用方法や電子工作講座を開催している。

平成二六年五月の施設オープン当初からマスコミなどにも取り上げられ、プラモデル世代の団塊ジュニアや定年退職後の余暇を楽しむシニア層、ものづくりに関心の薄い若い女性まで幅広い世代の関心を集めている。

■ノウハウを結集したソフトウェア開発

杉山代表は、当工房を中心に三次元プリンタの応用の幅を拡大するとともに、本業である業務用ソフトウェアの開発やクラウドサービスを利用したシステムの共同開発、共同受注を行うため協同組合の設立を目指している（九月現在）。

特に技術開発の速度が急激なソフトウェア業界において、メンバーのもつ専門的で高度な知識、ノウハウをもちより消費者ニーズや時代の変化に対応していく。

杉山代表は、「ものづくりを行う中小企業には、企業間連携が不可欠。失敗を繰り返し、お互いが支え合いながら中小企業の未来を拓いていかなくてはならない」と語る。

静岡県中小企業団体中央会

創立60周年記念式典

60th anniversary

「感謝・挑戦・飛躍」

静岡県中小企業団体中央会は今年度、創立60周年を迎えました。
この歴史は、地域経済を支えてきた中小企業と組合の足跡であることは言うまでもありません。
ともに歩んだ歴史を振り返り、皆様からいただいたご支援ご協力に「感謝」すると同時に、新たな時代に「挑戦」し、輝く未来への「飛躍」を誓うべく創立60周年記念式典を開催致します。
多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日　時：**平成27年11月17日(火)**　14:00より（受付：13:00より）
会　場：静岡県コンベンションアーツセンター　**グランシップ**　中ホール「大地」
静岡市駿河区池田 79-4　TEL：054-203-5710（代表）

次　第：14:00～　開　会
来賓祝辞
記念表彰（全国中央会会長表彰、静岡県中央会会長表彰、社会貢献組合顕彰）
15:00～　記念講演
講　師：**舞の海　秀平 氏**（元力士・近畿大学経営学部　客員教授）
テーマ：「可能性への挑戦」
16:00～　未来宣言

参加費：無料
申込方法等は中央会までお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

記念講演　15:00～16:00

講師：舞の海　秀平 氏（元力士）

関取時代の体格は、身長170cm、体重97kg。現役時代は角界最小の身体ながら、「猫だまし」、「八艘飛び」などファンを驚かせる数々の技をくりだし、“技のデパート”の異名をとる。平成11年11月の引退までに、技能賞を５回受賞。現在はNHK大相撲解説者、テレビ・スポーツキャスターとして幅広く活躍している。平成22年より近畿大学経営学部客員教授に就任。

身長も体格も自分より大きい力士たちとの戦いに明け暮れた日々。「相撲は大きいだけが有利なのではない。小さいから不利なわけでもない。だから面白い。」と振り返る。

式典当日は、まさに大企業に立ち向かう中小企業の経営を地で行くかのような氏の生き方や考え方についてご講演いただきます。

主催　静岡県中小企業団体中央会
〒420-0853　静岡県静岡市葵区追手町44番地の1
TEL：054-254-1511　FAX：054-255-0673　HP：http://www.siz-sba.or.jp/

協賛　静岡県中小企業団体職員協会・静岡県青年中央会・静岡県中小企業組合士会
静岡県機械金属工業協同組合連合会・静岡県中小企業団地協議会・静岡県食品産業協議会

長年の歴史に培われた優れた大工技術をPR！
平成二七年度「静岡大工まつり」を開催

静岡大工建築業協同組合

静岡大工建築業協同組合（長倉平理事長）は、八月二二日、静岡市葵区の青葉イベント広場で「静岡大工祭り・親子ふれあいフェスティバル」を開催した。

今年で一七回目となる当イベントは、長い歴史のなかで培われた優秀な大工技術を広くPRするとともに、地場の木材を使った温もりある住宅の素晴らしさを知ってもらうことが目的。

木工職人の本格的な指導による木工教室では、会場を訪れた子供たちが親たちと一緒にのこぎりの上手な使い方や釘の打ち方などを習い、実際に木製の本立てや椅子の組み立てを行った。

また、カンナ削りの体験コーナーでは、極薄に削る大工職人の技術を目の当たりにして来場者は驚きの表情を見せた。

その他、住宅に関連する畳、建具、左官、板金組合による小物販売や体験教室が行われ、様々な職人の技術を楽しみながら学んだ。

メインステージでは、組合員が木造住宅の建前作業を実演。〝上棟式〟を再現し、大工職人の労働歌として伝えられ祝いの席でも歌われる〝木遣り〟の披露に続いて餅まきが盛大に行われ、多くの人たちがつめかけた。

長倉理事長は、「少し前までは、男の子が将来なりたい職業の上位に必ず大工職人があったが、最近ではさびしいかぎり。大工がつくる木造住宅の良さをもっと知ってもらい、伝統ある大工技術をいつまでも残していけるよう組合員一丸となってがんばりたい」と今後の意気込みを語った。

▼子供たちが大工技術に挑戦

▲盛大に行われた餅まき

自主事業の早期再開に向けた備えを！
「震災被災企業体験セミナー」を開催

静岡県産業廃棄物処理協同組合

静岡県産業廃棄物処理協同組合（小笠原四郎理事長）は、八月二五日、静岡市葵区の静岡市産学交流センターB-nestで「震災被災企業体験セミナー」を開催した。

当日は、東日本大震災で驚異的なスピードで事業再開を果たしたことで有名な株式会社オイルプラントナトリ（宮城県・武田洋一社長）の常務取締役 星野 豊氏を招き、震災後の当社の事業再開への取組みについて説明をうけた。

星野常務は被災時の心構えとして、「安全確保、人命救助が第一。その次に、事業の早期再開に向け社員全員で集中することが必要」と話した。そのうえで、「想像力を働かせ最悪の被害を想定しながら、事前に事業継続計画（BCP）を策定することが重要」と強調した。

さらに、「事業再開には一企業だけでは困難なことが沢山ある。協同組合においては、組合員のネットワークを活用しない手はない」と自らの体験を踏まえ、組合組織の活用を促した。

近い将来、発生が予想されている南海トラフ巨大地震の被害想定では、県内沿岸部は大津波等による被害が大きく、瓦礫や様々な廃棄物が大量に出ることが推測されている。

小笠原理事長は「当業界は、大規模な震災が起こった場合、地域復興のために重要な役割を果たすことが確実。被災地域の早期復興のためにも、早期事業再開は欠かせない。ぜひ、強い自覚と責任をもってBCPの策定に取り組んでほしい」と参加者に呼びかけた。

当組合では当セミナーを皮切りに、中央会の補助事業を活用し、今年度五回にわたり組合員企業のBCP策定を支援する研修会を実施する。

▲実体験をもとにBCP策定の必要性を説明

地域ブランド茶 〝藤枝かおり〟を使用した新商品
茜香茶『さらりら』を開発

藤枝市茶商工業協同組合

藤枝市茶商工業協同組合（一言藤夫理事長）の組合員有志八社は、この度、地域のブランド茶「藤枝かおり」の茶葉を使用した茜香茶（あかねこうちゃ）『さらりら』を開発した。

当商品は、茶葉に香煎茶（こうせんちゃ）加工という特殊加工を施したもの。この加工技術は、化学物質や微生物、菌などを一切使わず茶の渋みのもととなるカテキンを機能性に優れた重合ポリフェノールに転換したもので、渋みがなくなり健康飲料の中でも特に飲みやすいとされる。また、痩身効果が期待できるとして静岡県立大学などで研究が進められている。

茜香茶は、名前のとおり煮出すと水色が鮮やかな〝茜色〟になるのが特徴。また、「藤枝かおり」特有の豊かな香りがいっそう引き立ち、まろやかですっきりとした味わいに仕上がった。

▼組合員有志8人で新商品を開発

当組合では、消費の減少が続く茶商業界にあって、付加価値の高い組合ブランド商品として位置付け、今後の活路を見出したい考えである。

なお、開発には中央会の助成事業を活用し、マーケティングの勉強や試作品の作製、求評を行った。

商品開発のリーダーを務める株式会社松田商店の松田真彦社長は、「機能性食品への注目が高まるなか、『さらりら』を業界活性化の起爆剤にしたい。若手が一緒になって、取り組んでくれたことも大きな収穫。この経験を活かし、これからも前向きにチャレンジしていきたい」と今後への意欲を語る。

茜香茶『さらりら』の注文、問い合わせは組合まで。
電話：〇五四―六四一―四一七三

木のぬくもりを親子で感じて！
夏休み恒例の「親子木工教室」を開催

藤枝建築事業協同組合

藤枝市を中心とした建築関連業者らで構成される藤枝建築事業協同組合（石神春雄理事長）は、八月二三日、当組合会館において「親子木工教室」を開催した。

当日は、一五家族一九人の親子連れが参加。三時間をかけて、地元の杉材を使った収納箱を製作した。当事業は、一二年程前から開催されており、夏休みの恒例事業として人気が高く、毎年の参加を楽しみにしている家族もいる。

組合の役員、青年部らが製作の指導にあたり、のこぎりで材料を切ったり、トンカチで釘を打ったりする作業を手伝った。なかには、自前の道具を持参し、日曜大工で鍛えた腕を披露する父親の姿も見受けられた。

▼熱心に製作に取り組む親子

組合員に自宅を建ててもらったことをきっかけに、大工仕事に興味をもって参加したという焼津市の親子は「子供が、暇さえあればトンカチで釘をうって遊んでいる。よほど、大工さんの仕事がおもしろかったようだ」、「まっすぐに釘を打つのが難しかったけど、こんなに大きなものを自分でつくれてうれしかった」とそろって笑顔を見せた。

石神理事長は、「モノがあふれる豊かな時代にあっても、自分で作ったものは大切にする。モノを作る喜びを知ってもらうと同時に、木のぬくもりを親子で感じ、木材住宅の良さを見直してほしい。大工職人が減る中で、参加者から将来、大工職人になる子供がでてくれれば」と話した。

▲石神春雄理事長

（平成27年8月の情報連絡員月次景況調査より）

静岡県中央会に設置されている情報連絡員〔協同組合等の役職員60名に委嘱〕による毎月の景況調査の概要です。

業界の声 対象17業種より抜粋

■製造業

・鰹の相場がまた高騰しつつある。魚価ばかりが一人歩きしており、製品の目立った動きは感じられない。**(水産食料品製造業)**
・今月も冷茶需要が好調だった。**(製茶業)**
・全体的に業況はあまり良くない。一部の企業では生産調整も行っている。**(宗教用具製造業)**
・８月は稼働日数が少なかった影響もあり、現況は厳しい。**(木材・木製品製造業)**
・家庭紙の値上げは比較的順調に進んでいるが、量販店で行われる安売り等の影響からティッシュの値上げに苦戦している。**(パルプ・紙・紙加工品製造業)**
・需要の落ち込みが激しく、小規模な個人営業者の中には廃業するところが出ている。**(印刷・同関連業)**
・出荷量は前年比に近付いているが、やや弱含み。好転の明るい兆しが見える。**(セメント・同製品製造業)**
・仕事量は増えつつあるものの、それをこなす人材の確保に苦慮している。今後、いかにして人材を確保し、育成していくかが課題となりそうである。**(生産用機械器具)**
・売上は横ばいに推移している。しかし、原材料費の高騰や、短納期の仕事の重複による外注費の増加から、組合員の８割方が減益に陥っている。**(生産用機械器具)**
・７月後半からの猛暑の影響で、エアコン等の白物家電品の売上が増加した。しかし、売上増加は猛暑による一時的なものであり、本格的な景気回復はまだまだと言える。**(電気機械器具製造業)**
・８月は自動車メーカーの生産稼働日が少なかったため、日ごとで見ると生産負荷が高くなった。**(輸送用機械器具)**
・軽自動車の販売は、生産量の減少に伴い各社で厳しい状況が続いている。**(輸送用機械器具)**
・事業所ごとにバラつきはあるものの、受注量が増えつつある。**(輸送用機械器具)**

■非製造業

・８月のセメント出荷は、前年同月との比較では増加となった。しかし公共関係の発注は少なく、出荷量としても低調であり、需要停滞が続いている。**(セメント卸売)**
・７月中旬の記録的な暑さの為、季節商品が好調に推移した。**(機械器具小売)**
・猛暑の影響から夏季商品が好調で、７月の出遅れ分を取り戻し、前年同月よりも売上を伸ばすことができた。しかし、消費者のネット需要の増加により、小売店に設置のみを依頼する傾向が見られるなど、未だに気が抜けない状況である。**(機械器具小売)**
・猛暑の影響で海水温が上昇し、漁獲量が減少した。魚価も高値で安定し、販売不振であった。**(鮮魚小売)**
・前年同月と比較して売上が下落しており、経営に苦慮している。**(商店街)**
・８月中旬に開催したイベントは、天候にも恵まれ多くの来街者で賑わった。**(商店街)**
・現在、防犯カメラの設置やエスカレーターの低速化、LED化の事業を行っており、より安心・安全な施設を目指している。**(商店街)**
・８月上旬に実施したイベントは、他の地域からも特産品の出展販売等の協力を依頼し、好評であった。**(商店街)**
・上半期末でハウスメーカーや金融機関の動きが活発になっており、売上増加に結び付いた。**(不動産取引業)**
・前年同月比では６月はマイナス傾向だったが、７月はプラス傾向になった。**(宿泊業)**
・都内や名古屋方面の案件が動き始め、それに応じ仕事の単価も改善の動きが出つつある。人材確保においては、付加価値のある人材は引っ張りだこで、売り手市場である。**(情報サービス)**
・前年同月と比較して大きな変化はない。**(ビルメンテナンス)**
・公共工事設計労務単価について、最近は上昇傾向にあるものの、過去の単価と比較するとまだまだ低い状況にある。**(総合工事)**
・公共工事の発注に地域で差が出ている。**(総合工事)**
・官庁・民間工事共に仕事量が減少している。**(総合工事)**
・軽油価格が前年と比較して１リットルあたり36～38円程度値下がりしている分、資金繰りが楽になっている。**(道路貨物運送)**
・８月は燃料価格が下落する一方、輸送は低迷した。**(道路貨物運送)**
・例年同様、お盆を過ぎると飲料関係の運送は減少した。一般貨物も８月下旬に入り極端に荷動きが減少し、空車情報が目立った。軽油価格が下がったので、収益面で多少改善できるかと期待している。**(道路貨物運送)**

県青年中央会と中央会正副会長との懇談会を開催しました

静岡県中央会は、8月17日(月)、静岡市葵区のクーポール会館において、静岡県青年中央会役員との懇談会を開催しました。

昨年度に続き今回2回目の開催となった当懇談会には、県青年中央会の櫻井洋一会長（島田鉄工（協）島田鉄友会)、鈴木慎一副会長（沼津鉄工機械工業（協）青年部)、小島卓美副会長（静岡県重機建設業（工）H.M.C青年会)、吉田良治理事（(協）浜松卸商センター翔友会）が出席。青年中央会の活動の紹介のあと、諏訪部敏之中央会会長他から青年中央会に期待すること、企業経営についてのアドバイスなどが送られ、意見交換を行いました。

青年中央会の各役員からは、「青年部を対象とした補助事業の枠を設けてほしい」、「会員の加入促進に役立てるために青年部の実態調査を実施してほしい」、「機関誌に青年部の活動をもっと多く取り上げてほしい」といった意見や要望が寄せられました。

諏訪部中央会会長は、「本日いただいた意見を今後の中央会事業に活かしていきたい。いつの時代も若者が新しい時代の礎を築いてきた。皆さんのパワーとチャレンジ精神に引き続き期待しています」と述べました。

青年中央会は組合の青年部や個人会員で構成され、各種研修会や懇談会の実施により、経営者としての資質向上、情報交換をはかっています。青年中央会に関するご質問、お問合せにつきましては、中央会　連携組織課（電話054-254-1511）までお問合せ下さい。

景況ウォッチ Watch

組合活性化情報

内閣府が9月9日に発表した8月の消費動向調査によると、消費者心理を示す消費者態度指数は前月比1.4ポイント上昇の41.7となったが、7月に「足踏みがみられる」とした消費者心理の基調判断は維持する結果となった。
連絡員からの8月期の動向をみると、前月との比較で、全9項目中「売上高」、「販売価格」、「設備操業度」、「資金繰り」の項目で改善傾向となったが、前年同月比では「在庫数量」と「販売価格」の項目を除く全ての項目でマイナスとなっている。
各業種からの自由回答を見ると、製造業・非製造業においては、依然として景況感が悪さを訴える報告が多く、景気の停滞感がうかがえる。また、電気機器製造業や小売業からは、前月に引き続き、猛暑の影響による売上の増加や原材料の高騰等の報告が寄せられた。

概　況

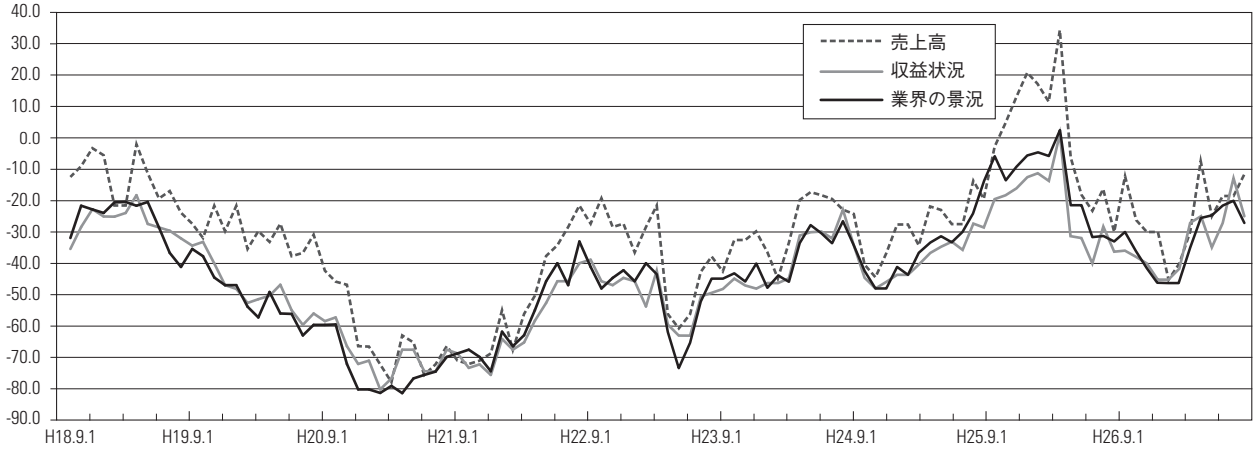
○平成27年８月のDI値を前月と比較すると、「売上高」「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」の項目が改善傾向となった。
○「製造業」は、前月との比較で「資金繰り」「設備操業度」が改善する一方、「取引条件」「収益状況」の項目で悪化の傾向となった。自由回答では、依然として景況感は良くない業種が多く、景気の停滞感がうかがえる。
○「非製造業」は、前月との比較で、「売上高」「販売価格」「取引条件」「雇用人員」の項目で改善傾向となっている。自由回答では、運輸業において燃料価格は低下したものの、荷動きが減少しているとの報告が寄せられた。

DI値の推移 ※DI値 ＝［(増加・好転組合数－減少・悪化組合数)／対象組合数］×100

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
H27.08	−11.7	−2.3	1.6	−1.7	−25.0	−8.3	−10.4	−3.3	−26.6
DI値									
H27.07	−18.3	−9.3	−3.3	−1.7	−13.3	−5.0	−13.8	−8.3	−20.0
H27.07→H27.08	6.6↑	7.0↑	4.9↑	0.0→	−11.7↓	−3.3↓	3.4↑	5.0↑	−6.6↓

＋0.1以上･･･ ☼　± 0.0～−10.0･･･ ☁　−10.1～−20.0･･･ ／　−20.1～･･･ ☂　なお「在庫数量」のみマイナス値が大きいほど好転を示している。

主要三指標DI値推移（過去10年間）



ワーク・ライフ・バランスシンポジウム 参加者募集

効率的に働いて、しっかり休める職場づくりに取り組むためのヒントをお話いただきます。参加は無料です。ぜひご参加ください。

【浜松市会場】

◇**日　　時**　平成27年10月27日（火）13時30分～16時30分
◇**会　　場**　アクトシティ浜松 コングレスセンター41会議室
（浜松市中区板屋町111-1）
◇**定　　員**　300名
◇**基調講演**　講師　㈱佐々木常夫マネージメント・リサーチ
代表取締役 佐々木常夫 氏
◇**事例発表**　沢根スプリング㈱、浜松信用金庫、パルステック工業㈱
◇**パネルディスカッション**
テーマ「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方・休み方の見直しについて」
◇**お申込み方法**
インターネットかFAXでお申込みください。
HP：http://urx3.nu/n8Tp　FAX：03－3409－1007
◇**お申込み締切日**　平成27年10月23日（金）

【静岡市会場】

◇**日　　時**　平成27年11月20日（金）13時30分～16時30分
◇**会　　場**　しずぎんホールユーフォニア
（静岡市葵区追手町1-13）
◇**定　　員**　450名
◇**基調講演**　講師　㈱佐々木常夫マネージメント・リサーチ
代表取締役 佐々木常夫 氏
◇**事例発表**　㈱お佛壇のやまき、静岡鉄道㈱、富士フイルム㈱
◇**パネルディスカッション**
テーマ「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方・休み方の見直しについて」
◇**お申込み方法**
インターネットかFAXでお申込みください。
HP：http://urx3.nu/n8Tp　FAX：03－3409－1007
◇**お申込み締切日**　平成27年11月18日（水）
※各会場とも定員になり次第、申込受付を締め切らせていただきます。
※参加申込書は労働政策課HP
http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-210/に掲載しています。

【お問い合せ】

公益財団法人 日本生産性本部
（厚生労働省委託事業実施機関）
TEL：03-3409-1122

伊豆長岡温泉 おおとり荘のご案内

世界遺産韮山反射炉から車で10分、伊豆の国市狩野川のほとりにある公共の宿『おおとり荘』。企業等向けの会議研修プランや赤ちゃん連れのご家族向けプランなど様々な宿泊プランをご用意しております。社員研修（社員旅行）から家族旅行まで対応可能！是非ご利用ください。

【企業・団体様向け 会議研修プラン】

・研修宿泊パック（10名様～）￥9,900 １泊２食宿泊費、会議室１日使用
・研修宿泊宴会パック（15名様～）￥12,400 研修宿泊パックに宴会120分（飲み放題）追加

※定員100名の会議室、スクリーン、無線LAN、プロジェクター（有料）を完備
※10名様以上県内東部地区送迎無料
※駐車場50台あり
※平日（月から木）の利用に限る。また、GW、お盆、正月等の期間は対象外。
※物品販売・勧誘等営利目的でのご利用不可。

【赤ちゃん安心。部屋食プラン】

パパ・ママものんびりお食事をテーマに、赤ちゃんや幼児のお子様も安心して泊まれるプラン。

ベビーベッド、ベビーチェア、加湿器、空気清浄機の貸し出しや、ご希望により大浴場にベビーバスのご用意などいたします。￥12,624 ～

○上記プランの金額は税・サービス料込みです。
○上記プランの他にも、「同窓会プラン」や「女子力UP！温泉でゆっくり女子会プラン」などがあります。詳細はおおとり荘HPをご覧ください。
○**静岡県内の中小企業にお勤めの従業員の方及びその家族の方は、直接お電話でのご予約に限り、お１人様の室料から500円を割引きいたします。**
（宿泊者対象。詳細はお問い合せください。）

▲季節に応じた料理

▲会議室

富士山・狩野川を望む展望風呂も必見。HPをご覧ください。

【お問い合せ】

静岡県中小企業従業員いこいの家 おおとり荘
〒410-2201 伊豆の国市古奈1133
TEL：055-948-1095　FAX：055-948-2739
HP：http://www.o-torisou.jp

おおとり荘　検索

「静岡県職業能力開発促進大会」記念講演のご案内

心理学と笑いの理論の融合で明日からできる魔法のコミュニケーション術を学んでみませんか？

誰でも無料で参加できます！

日時：11月19日(木)　15:00～17:00
会場：清水テルサ(静岡市清水区島崎町223)
定員：400名(申込先着順)
主催：静岡県職業能力開発協会
後援：静岡県

「職場環境を良くする魔法のコミュニケーション」

講　　師：夏川立也 氏

講師紹介：京都大学工学部在学中に、落語家桂三枝に弟子入り。卒業後、吉本興業の芸能人としてＴＶドラマ・バラエティ・舞台等で芸能活動をスタート。その傍ら、自ら起業家として株式会社を設立。経営者として十数年間経済活動に取り組み、地域に根差した起業を作り上げる。また、利害関係を超えた社会貢献活動にも取り組み、社団法人豊中青年会議所に入会、第37代理事長を務めた。
現在はコミュニケーション・プロデューサーとして全国で講演活動を行っている。

【会場案内】

◆JR「清水駅」下車、みなと口より徒歩約５分。
◆静岡鉄道「新清水駅」下車、徒歩約７分。
◆清水テルサには専用駐車場はございません。
清水駅東口駐車場など、近隣の有料駐車場をご利用ください。

【お申込み方法】

静岡県職業能力開発協会ホームページから申請書をダウンロードしメールにてお申し込みください。

【お問い合せ先】

静岡県職業能力開発協会 総務課
TEL：054-345-9377　FAX：054-345-2397
HP http://shivada.com/

テクノカレッジ入校生募集のお知らせ

県立技術専門校（愛称“テクノカレッジ”）は、静岡県が設置する公共職業能力開発施設です。おおむね30歳以下の方を対象にした若年者コースでは、平成28年度入校生を募集します。高い就職率（例年ほぼ100％）、多彩な資格取得、充実した設備など、魅力あふれるテクノカレッジへの入校をお待ちしています！！

フライス盤作業

【沼津テクノカレッジ】

TEL：055－925－1071　FAX：055－925－1115
HP：http://www.numazu.vtc.ac.jp
□募 集 科：機械技術科、電子技術科、情報技術科
□定　　員：各科20名
□訓練期間：２年
□募集期間：11月２日(月)～11月19日(木)
□選 考 日：11月27日(金)

【清水テクノカレッジ】

TEL：054－345－2032　FAX：054－345－2921
HP：http://www.shimizu-tc.ac.jp/
□募 集 科：機械技術科、電気技術科、設備技術科
□定　　員：各科20名
□訓練期間：２年
□募集期間：11月２日(月)～11月20日(金)
□選 考 日：12月４日(金)

【浜松テクノカレッジ】

TEL：053－462－5602　FAX：053－462－5604
HP：http://www.hamamatsu-tech.ac.jp/
□募 集 科：機械技術科、建築科
□定　　員：各科20名
□訓練期間：１年
□募集期間：10月26日(月)～11月13日(金)
□選 考 日：11月20日(金)

【共　通】

□授 業 料：年間118,800円
□検 定 料：2,200円
□応募手続：平成28年３月高校卒業見込の方は、テクノカレッジに、それ以外の方は、住所地を管轄するハローワークに応募書類を提出してください。

静岡労働局からのお知らせ

「改正労働者派遣法説明会」を開催します

需給調整事業課
TEL054-271-9980

改正労働者派遣法が平成２７年９月１１日に成立し、平成２７年９月３０日から施行されることとなりました。今回の法改正では、特定労働者派遣事業と一般労働者派遣事業の区分を廃止し、すべての労働者派遣事業を許可制とするなど大幅な改正となっていることから、当局としては派遣元事業主及び労働者派遣の活用を検討している事業主等を対象とした説明会を開催します。

■　開催日程等

開催日	会　場	会場の住所及び電話番号	参加予定数
平成27年10月8日(木)	浜松市総合産業展示館 1号ホール	浜松市東区流通元町20－2 電話（053)421-1311	各２５０名
平成27年10月14日(水)	静岡市清水文化会館 小ホール	静岡市清水区島崎町214 電話（054)353-8885	各２８０名
平成27年10月15日(木)	三島市民文化会館 小ホール	三島市一番町20番5号 電話（055)976-4455	各３５０名
平成27年10月19日(月)	もくせい会館 富士ホール	静岡市葵区鷹匠3－6－1 電話（054)245-1595	各２５０名
平成27年10月21日(水)	浜松市地域情報センター ホール	浜松市中区中央一丁目12番7号 電話（053)456-5000	各１５０名
【各会場共通事項】※午前･午後とも説明内容は同じです。 ＜午前の部＞　受付時間　10:00～10:30　　説明時間　10:30～12:00 ＜午後の部＞　受付時間　13:30～14:00　　説明時間　14:00～15:30			

■　内容
- 改正労働者派遣法の概要について
- 労働契約申込みみなし制度について

■　対象者
静岡労働局管内において厚生労働大臣への許可・届出済みの派遣会社の事業主・派遣元責任者・事務担当者、派遣先事業主・派遣先責任者等

■　参加申込み
需給調整事業課が配布する「改正労働者派遣法説明会参加申込書」により、事前に申込みください。

11月は「過重労働解消キャンペーン」期間です

監督課
TEL054-254-6352

トップが決意を持って、長時間労働の削減に向けた取組を推進しましょう

平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法」において、11月は「過労死等防止啓発月間」とされています。このため、厚生労働省では、同月間において長時間労働の削減等過重労働解消に向けた集中的な周知・啓発等の取組を行う「過重労働解消キャンペーン」を実施します。

クローズアップ インタビュー
close-up INTERVIEW

栄えある旭日小綬章を受章

協同組合ロームシステム
海野要三 理事長

平成二〇年秋の藍綬褒章の受章に続き、本年四月、氏は長年にわたる労働行政の制度普及や事業推進に対する功績が認められ、旭日小綬章を受章した。「組合員のご支援はもとより、事務所のスタッフや家族、周りの支えがあってこその栄誉。感謝の言葉しか思いつかない」と謙虚に喜びを語る。

昭和四四年、当組合の前身である協同組合清水労務共済の創立と同時に入職、直ちに常務理事に就任した。以後、一貫して労働保険事務業務に邁進。その間、静岡県労働保険事務組合連合会の設立に尽力され当連合会の会長職を今日まで一七年以上にわたり務めるなど、組合の発展とともに労働行政の推進に全身全霊を傾けている。

「実は、父親の勧めで就いた仕事。最初は、あまり気が進まなかった」と当時を振り返るが、その言葉とは裏腹に日夜、中小企業の労務管理の支援に奔走。その熱意と誠意溢れる対応により創立時一五一社だった組合員は現在、五九〇社を超える。

「組合に入ったばかりの頃は経済の成熟とともに、労働環境の整備の必要性が高まっていくのを肌で感じ、社会に求められているという使命感が自分自身を夢中にさせた。今思えば、とても幸せな時代だった」。

社会保険労務士（以下、「社労士」）資格を取得後は、さらに活躍の場を広げ、全国社労士会連合会の要職を務められるなど、法改正の多い業界にあって、その都度、制度の普及や整備に貢献された。

平成一八年には、社労士法人ロームシステムを立ち上げ、就業規則の見直しや助成金の申請支援を行うコンサルティング業務、労働災害などに対する補償についての相談に応じるリスクマネジメント業務など領域を広げてきた。また、未払い賃金や解雇など、複雑な労働問題に対し公正中立な立場で専門的な指導も行っている。

「今では、大学生のとりたい資格トップスリーに必ずあげられる社労士資格。試験合格は狭き門だが、それだけ国民生活にとって重要な業務だということ。資格を取得しても、常に勉強を続けないと仕事にはならない。それに、相手を思いやる気持ちが何よりも重要では」。社労士三人を含む一四人のスタッフには温かい目を向けながらも、日頃の研鑽の重要性を説く。

モットーは、『親切・丁寧・迅速』。特に正確でありながら、スピードに重点をおいたサービスの提供には自信を持つ。

「変化の多い時代。スピードに乗り遅れれば、その分問題も深刻化する。特に、労働災害は従業員の命に関わるという重い責任を常に感じなければならない」と語る。

また、来年一月から始まるマイナンバー制度については、「中小企業の現場はかなり混乱し不安も多い。役所のための制度であってはならない」と手厳しいが「その不安を取り除くのが我々の仕事」と新たな使命感に燃えている。

「仕事は常に楽しく前向きに。言いたいことははっきり言って、ストレスは全く感じないほう」と自分自身を分析。奥様との温泉旅行を楽しみにするなど家族への心配りも忘れない。

昭和二〇年生まれ。静岡市清水区出身。

「日々、新しいことの発見です」

本年四月に中央会に入会しました大長航です。これから宜しくお願いします。

この場を借りて簡単に自己紹介をさせて頂きます。藤枝市出身で男三兄弟の次男として生まれました。小学校二年生からサッカーを始め、かれこれ二〇年のキャリアになります。また昨年よりビーチサッカーにも取り組み、週末は仲間とグラウンドかビーチでボールを蹴って楽しんでいます。そのため年中肌が日焼けして黒く、周りからはすぐに私だと気付いてもらえます。

中央会ではものづくり支援センターに配属となり、中小企業の皆様を訪問し現場の声を直接聞かせていただいております。人と接することが好きな私には、日々新しい事の発見があり、とても楽しくやりがいのある仕事だと感じています。

これから中央会職員として、新たな出会いを楽しみに、組合、組合員の方たちのお役に立てるよう精一杯頑張ってまいります。

静岡県中小企業団体
中央会
ものづくり支援センター
大長（だいちょう） 航（わたる）

編集室便り

立て続けに2件、大工組合のイベントの取材に伺った。カンナで木材を削ったり、外国と日本のノコギリの違いを教わったりと貴重な経験をさせてもらった。

中国から伝わった日本のノコギリは引いて木材を切るのに対し、多くの外国のノコギリは押して切るのだそうだ。刃の向きや厚み、構造自体にも違いがあり、木材の硬度や人間の骨格などに由来するのだという。

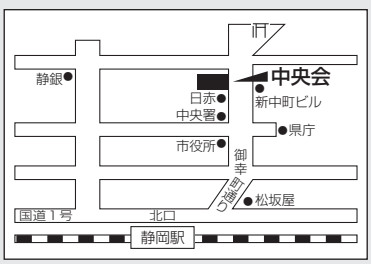
また、日本のノコギリには“アサリ”といって刃を左右に広げ、木材と刃の摩擦を減らすと同時に木くずを排出しやすくする工夫がある。

そういえば昔、近所にこのアサリの加工を行うノコギリの“目立て屋”があった。1日中、座ったままトンカチやヤスリをふるっていた職人さんの姿が思い出される。今はもう聞こえなくなったそのリズムの良い音が懐かしい。またひとつ、昭和は遠くなりにけり。（押尾）

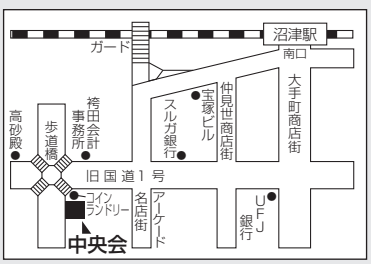
中小企業静岡10月号（通巻743号）

●発行人／静岡県中小企業団体中央会　〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 TEL／054-254-1511 FAX／054-255-0673
東部事務所　〒410-0881 沼津市八幡町7番1号 TEL／055-963-4511 FAX／055-963-8307
西部事務所　〒430-0929 浜松市中区中央1丁目17-19 TEL／053-453-2195 FAX／053-453-2198

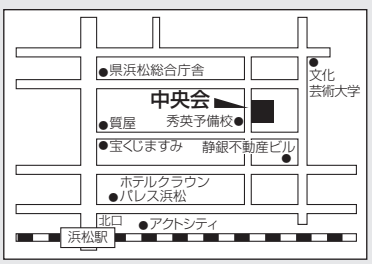
●中央会ホームページ http://www.siz-sba.or.jp/ ●E-mailアドレス m-osuo@siz-sba.or.jp
皆様のご意見をお待ちしております。（TEL、FAX等でもお受け致します。）



静岡事務所



東部事務所



西部事務所

《募集!!》中央会封筒（裏）に掲載する組合・企業の広告

中央会では、平成28年度に使用する封筒の裏面を活用した組合や企業等の広告を募集します。
封筒は、文書発送時や会議開催時に使用され、組合関係者のみならず、企業、行政機関、金融機関等の手元に届きます。この機会に是非ご活用ください！！

■広告掲載する封筒の種類と掲載場所

①中央会封筒の裏面
封筒サイズ：332mm（縦）×240mm（横）
A4サイズの書類が入る大きさ。発送時、会議開催時に使用

②中小企業静岡発送用封筒の裏面
封筒サイズ：311mm（縦）×228mm（横）
毎月発行される中小企業静岡等の発送用として使用

■規格・広告掲載料

項　　目	中央会封筒	中小企業静岡発送用封筒
1枠サイズ	120mm（縦）×110mm（横）	110mm（縦）×100mm（横）
印 刷 色	1色（濃紺）　※封筒は淡いブルー	1色（紺・特色）　※封筒はサーモンピンク
掲 載 料	1枠につき60,000円（税込）	1枠につき50,000円（税込）
掲載期間	1年間（4月1日～翌年3月31日）	

※掲載料に版下作成費は含みません。
　版下原稿は、広告主様のご負担にて完全原稿でご提出いただくこととなります。

■お申込み・お問い合わせ等

所定の申込用紙にてお申し込みいただくこととなります。
申込用紙は本会ホームページ（http://www.siz-sba.or.jp）の新着情報内「【募集】中央会封筒への組合・企業広告掲載」よりダウンロードしていただき、必要事項のご記入並びに代表者印ご捺印の上、下記宛にお送り下さい。

◎静岡県中小企業団体中央会 総務課 宛
〒420－0853 静岡市葵区追手町44番地の1 総務課
TEL 054－254－1511
※広告掲載申込期限：平成27年10月30日（金）締切

企業間連携による"ものづくり"～中小企業の挑戦が未来を拓く～
昭和43年10月1日第3種郵便物認可
平成27年10月1日発行（通巻743号）
毎月1日発行
発行人　静岡県中小企業団体中央会
〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1
TEL.054（254）1511
FAX.054（255）0673
定価300円　年間3,600円

つもる話はアフターファイブに。

仕事帰りにサクッと夕方がチャンス。

はずむ話はデイタイムに。

日曜にじっくり。家族一緒がナイス。

働く人に便利な2つの「相談会」。

〈ろうきん〉全店OPEN!

水曜よりみち相談会

17:00～19:00

毎週水曜日 夕方　予約優先※1

県内〈ろうきん〉の全営業店で開催中!

TOPICS

ローンのこと、お金のこと。ご相談内容が充実。

住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託、
個人年金保険のご相談もお取扱いします。※2
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。

日曜のんびり相談会

9:00～12:00 13:00～16:00

毎週日曜日　予約制

県内〈ろうきん〉のローンセンターで開催中!

TOPICS

週末はご家族で。3ローンセンターでは土曜日も相談OK。

予約制

お客様の声にお応えして土曜日も相談会を開催。

土曜日開催店
◎浜松中央ローンセンター
◎静岡中央ローンセンター
◎富士ローンセンター

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。
※2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。
※　いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

〈ろうきん〉が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの〈ろうきん〉へ。

お近くの〈ろうきん〉はこちらから!
スマホ版にアクセス!

いつもあなたの目線で。
静岡ろうきん

お問い合わせ ご予約は
ピポパ de ろうきん　携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル　平日 9:00～18:00
0120-609-123
インターネットホームページ
http://shizuoka.rokin.or.jp